

第12回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1998年2月20日（金）10:00～10:45

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 審察委員長代理、依田委員、遠藤委員
（事務局等）伊藤原子力調査室長
池本専門委員
森山廃棄物政策課企画官
廃棄物政策課 坂本
原子力調査室 岡崎、松澤、新井

4. 議 題

- （1）第14回原子力バックエンド対策専門部会の開催結果について
- （2）1999年度米国DOE予算要求について
- （3）その他

5. 配布資料

- 資料1 原子力バックエンド対策専門部会（第14回）議事概要
- 資料2 原子力バックエンド対策専門部会報告書案に対する意見書案について
- 資料3 原子力バックエンド対策専門部会報告書案
「R1・研究所等廃棄物処理処分の基本的考え方について（案）」に
対する意見記入用紙
- 資料4 R1・研究所等廃棄物処理処分の基本的考え方について（案）
- 資料5 R1・研究所等廃棄物処理処分の基本的考え方について（案）の概要
- 資料6 1999年度米国DOE予算要求について
- 資料7 第11回原子力委員会臨時会議議事録（案）

6. 審議事項

- （1）第14回原子力バックエンド対策専門部会の開催結果について

議記の件について、事務局より資料1から資料5に基づき、2月5日に行われた議記会合で取りまとめられた報告書案の概要及び報告書案に対する意見書案を本日より3月21日まで行うこと等について報告があった。

これに対し、委員より、

- ・R1使用事業者等、多くの廃棄物排出者へ周知し、意見を聞くことが重要
- ・廃棄物処分方針については、現在、廃棄物の発生額ごとに検討を行っており、発生者の責任という観点からは適当であるが、今後、全体を俯瞰していくことも考えていくべき

等の意見があった。

- （2）その他（遠藤委員の海外出張報告について）

遠藤委員より2月11日（水）から18日（水）までの8日間、インドネシア、タイにおける原子力関係の要人等との会談、スルボン原子力研究センターの視察等の海外出張報告があった。

- （3）1999年度米国DOE予算要求について

米国エネルギー省（DOE）が発表した議記の件について、事務局より資料6に基づき、化石エネルギー関連、原子力エネルギー（非防衛）関連、エネルギー効率・再生可能エネルギー関連、核融合エネルギー関連、国際原子力安全、民間放射性廃棄物管理等、エネルギー資源ならびに原子力に関する主要事項について報告があった。

これに対し、委員より、

- ・新規である原子力エネルギー研究イニシアチブを大学、研究所レベルでどのように運営していくのか、熱工学、核燃料及び炉物理が出ているのは関心のあるところ

等の意見があった。

(4) 議事録の確立

事務局作成の資料7第11回原子力委員会臨時会議議事録（案）が了承された。